

# ガラス破りの手口

# 台見州 禁止転用

## ■ガラス破り

窓ガラスやガラス戸をドライバー、ゴムテープなどを使用し割って、そこから手を入れてサムターンやクレセント錠等を開ける手口。最近ではガラス全体を切り抜いて窓を開けずに侵入する手口も発生している。



## ■ガラス破り対策

破壊に強いガラスを使用する。

### 防犯フィルムをクレセント周辺に貼る

ポリエステルなどの透明な樹脂製で、ガラス面に貼ることで破壊行為による亀裂が生じても手が入る程の穴を開けにくくするフィルムです。



## ■焼き破り

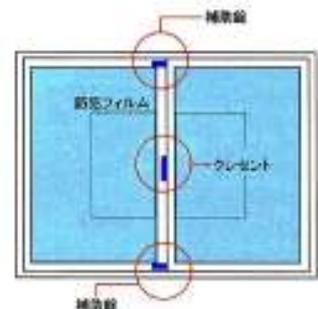
「焼き破り」とは、窓の錠の周囲のガラスを強ライターやバーナーなどで焼いて割れやすくなったところを割ったり、加熱後に水を吹きかけてヒビを入れて割るなどして窓ガラスを破りカギを開けて、侵入して窃盗を働くというものです。ガラスは火に弱く、破壊時の音がほとんどしないため、気づかれにくいのです。



**\* 焼き破りには防犯フィルムも効果がありません**

## ■焼き破り対策

補助錠を取り付ける(クレセントはカギの代わりにはならない)。



**防犯フィルム**の貼付けに併せて補助錠を設置することにより、侵入防止により有効な措置となります。